

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／ワークショップ演習I (Workshop Seminar-I)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	マネジメント・コントロール・システムの理論と実践		
担当者名 (Instructor)	細田 雅洋(HOSODA MASAHIRO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	BUS3013	言語 (Language)	その他 (Others)
備考 (Notes)	コンセントレーション: アカウンティング & ファイナンス領域		

授業の目標 (Course Objectives)

本講義では、企業経営の実務において、マネジメント・コントロール・システムがどのように活用されているのかについて理解し、実務上での役立ちが大きい知識習得を目指す。

In this course, we aim to understand how management control systems are used in business management, and to acquire knowledge that is useful in practice.

授業の内容 (Course Contents)

本演習では、マネジメント・コントロール・システムについて、実務上の事例をもとに理解していくことを目的とする。毎回の講義ごとに指定図書を担当を割り振り、担当者(グループ)がプレゼンを実施する。その後、当該プレゼン内容について質疑応答を実施して、理解の深化を図る。そのうえで、マネジメント・コントロール・システムの知見をもとに研究テーマを決定し、研究報告を実施する。研究報告の場には実務家を招く予定である。なお、受講者の人数や意欲によっては外部の研究報告会(アカウンティングコンペティション: <http://accocom.com/>)への参加を目指す。その場合は講義計画を変更する可能性がある。

The purpose of this course is to provide students with an understanding of management control systems based on practical examples. In each lecture, students will be assigned a designated book, and the group in charge will make a presentation. This will be followed by a question and answer session to deepen students' understanding of the content of the presentation. The students will then decide on a research theme based on their knowledge of management control systems and report on their research. Practitioners will be invited to present their research. Depending on the number of students and their motivation, we may aim to participate in an academic conference (Accounting Competition: <http://accocom.com/>). In this case, the plan of the lecture may be changed.

授業計画 (Course Schedule)

1. ガイダンス(演習の進め方など)
2. マネジメント・コントロール
 - ・ケーススタディ
3. 戦略とマネジメント・コントロール
 - ・ケーススタディ
4. 目標の設定
 - ・ケーススタディ
5. 計画の策定
 - ・ケーススタディ
6. 業績評価
 - ・ケーススタディ
7. インセンティブ・システムの設計
 - ・ケーススタディ
8. 組織構造との関係
 - ・ケーススタディ
9. 組織文化との関係
 - ・ケーススタディ
 - ・研究テーマの報告
10. 新しいマネジメント・コントロールとこれからのマネジメント・コントロール
 - ・ケーススタディ
 - ・研究テーマの報告と作業内容の確認
11. はじめに(研究課題・目的)
 - ・先行研究レビュー
 - ・データ収集・分析
12. 先行研究レビュー

- ・データ収集・分析
- 13. ・データ収集・分析
- ・結果の考察
- 14. ・研究報告
- ・総括

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

- ・発表担当者でない受講者も事前にテキストの該当箇所を読んでくること。
- ・講義内での質疑応答が活発に行われるように事前の準備が必要である。
- ・講義後使用した資料を再度読み込むことで知識の定着を図ること。

成績評価方法・基準(Evaluation)

授業への参加・貢献度合い(50%)/毎回のプレゼンテーションと研究報告の内容(50%)

テキスト(Textbooks)

1. 横田絵理・金子晋也、2014、『マネジメント・コントロール -- 8つのケースから考える人と企業経営』、有斐閣 (ISBN:4641164223)

参考文献(Readings)

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

- ・講義内で補足説明を適宜行っていくが、ある程度の会計に関する知識があった方が理解は早いと思われる。
- ・管理会計論を履修しておくと思われれる。
- ・受講者の人数や意欲によっては外部の研究報告会(アカウンティングコンペティション: <http://accocom.com/>)への参加を目指す。その場合は講義計画を変更する可能性がある。2021年度は9名の履修があり、2チームに分け、アカウンティングコンペティションに参加した。テーマは『シェアード・リーダーシップがマネジメント・コントロールに及ぼす影響』と『リモートワークによるマネジメント・コントロールの変化がモチベーションに及ぼす影響』であった。
- ・講義時間以外にも資料収集、データ収集・分析、資料作成のための時間が発生することに留意して受講すること。特にアカウンティングコンペティションに参加する場合には、上記の活動のために多くの時間を要することになる。

注意事項(Notice)